

令和5年度一般会計補正予算（第3号） ピックアップ事業

1 高齢者、子ども、妊婦へ季節性インフルエンザワクチン接種費用を助成します

概要 感染・重症化リスクの軽減や安定した医療体制を確保するため、季節性インフルエンザワクチンに係る高齢者の接種費用を無償化するとともに、子ども及び妊婦の接種費用を公費助成（2,000円）します。

期間 令和5年10月1日～令和6年1月31日

対象等 高齢者（無償化）：65歳以上
子ども等（2,000円助成）：生後6か月から18歳*までの方及び妊婦
※18歳到達後最初の4月1日まで

接種回数 1人1回まで（接種日現在13歳未満は1人2回）

備考 ・子ども等が市内の協力医療機関で接種を受ける場合、実際の接種費用から2,000円を引いた金額を医療機関に支払う（その他の医療機関の場合は後日還付申請が必要）
・対象となる医療機関、持ち物等、詳細は後日市ホームページ等に掲載

予算額 201,051千円（高齢者：88,652千円、子ども等：112,399千円）

問合せ先 高齢者：健康づくり課（課長 青木耕司） 電話：072-625-6685
子ども等：子育て支援課（課長 村上友章） 電話：072-624-9301

2 特殊詐欺被害防止に向けて、高齢者に自動通話録音機を無償貸与します

概要 市内で多発している特殊詐欺被害を防止するため、高齢者世帯に対し、自動通話録音機*を無償で貸与します。

※固定電話に設置することで、電話着信時に警告アナウンスが流れ、通話内容を自動で録音する機器

対象 65歳以上の高齢者がいる世帯100世帯（多数の場合抽選）

申込 令和5年10月中旬ごろから受付開始予定

予算額 594千円【財源：府特殊詐欺対策機器普及促進事業補助金 297千円】

問合せ先 市民生活相談課（課長 多田明世） 電話：072-620-1603

【参考】茨木市内の特殊詐欺発生状況（茨木警察署提供資料より）

◎認知件数等（令和5年7月末現在）

- ・認知件数：84件（前年同月比+60件）
- ・被害金額：約1億1,500万円（前年同月比+約8,300万円）

◎特徴

令和5年7月に発生した手口は多い順番に、架空料金請求詐欺、キャッシュカード詐欺盗、次いで同じ件数で還付金詐欺、預貯金詐欺となっている